



# 平成 24年 3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23年 8月 2日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社**

上場取引所 大阪・東京 各第一部

コード番号 4528

URL(<http://www.ono.co.jp/>)

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相良 暁

問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員広報室長 (氏名)森本 公也

TEL(06)6263-5670

四半期報告書提出予定日 平成 23年 8月 10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 24年 3月期第1四半期の連結業績(平成 23年 4月 1日～平成 23年 6月 30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	36,328	7.4	12,182	3.8	13,371	3.9	8,345	0.3
23年3月期第1四半期	33,830	△7.2	11,739	△25.8	12,869	△24.3	8,322	△25.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 7,939百万円(148.3%) 23年3月期第1四半期 3,197百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	78.72	—
23年3月期第1四半期	76.54	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	423,628	392,963	91.8	3,669.18
23年3月期	424,442	394,572	92.1	3,685.23

(参考) 自己資本 24年 3月期第1四半期 389,007百万円 23年 3月期 390,712百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成 24年 3月期の連結業績予想(平成 23年 4月 1日～平成 24年 3月 31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,200	5.4	15,800	20.6	17,100	15.8	11,100	19.0	104.70
通期	140,000	3.5	35,700	1.4	37,800	0.7	24,500	1.1	231.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

#### (4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年 3月期1Q	117,847,500株	23年 3月期	120,847,500株
24年 3月期1Q	11,827,021株	23年 3月期	14,826,407株
24年 3月期1Q	106,020,783株	23年 3月期1Q	108,733,980株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記事項	10
4. 補足情報	11
(1) 主な製品の売上高と予想	11
(2) 海外売上高	11
(3) 開発品の進捗状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

国内外の企業間競争は一段と激しさを増し、医薬品業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況下にあります。当社では独創的な新薬開発を目指し、研究開発体制の一層の強化と、主要製品を中心とした学術情報活動の充実を図るとともに、経営全般にわたり効率化に努めております。これらの結果、当第1四半期の業績は、以下の様になりました。

売上高	363億2千8百万円	前年同期比 7.4%増
営業利益	121億8千2百万円	前年同期比 3.8%増
経常利益	133億7千1百万円	前年同期比 3.9%増
四半期純利益	83億4千5百万円	前年同期比 0.3%増

・売上高 前年同期比25億円（7.4%）増の363億円

2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は、積極的な情報提供活動を行い、計画通りに着実に進捗しています。本年5月にはα-グルコシダーゼ阻害剤との併用療法の効能追加が承認され、また今年度はさらにインスリン製剤との併用療法の効能追加承認も期待されており、今後も年間売上計画の達成に向け努めてまいります。また、癌化学療法に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」も、堅調に売上を伸ばしています。

一方で、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」などは、引き続き積極的な情報提供活動によって潜在市場の顕在化を図りましたが、後発品の影響などから売上は減少となりました。

以上の結果、当第1四半期は前年同期比25億円増の363億円となりました。

・営業利益 前年同期比4億円（3.8%）増の122億円

売上高は25億円増加しましたが、一方で売上原価が9億円増加し、また販売費および一般管理費が12億円増加したことにより、営業利益は、前年同期比4億円増の122億円となりました。

販売費及び一般管理費では、販売費が5億円減少しましたが、研究開発費が14億円増加となりました。

・経常利益 前年同期比5億円（3.9%）増の134億円

営業外収支は、前年同期並みの12億円となりました。

・四半期純利益 前年同期比2千万円（0.3%）増の83億円

特別損失に、投資有価証券評価損を4億円計上しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

	前連結会計年度末	当第1四半期末	増減
総資産	4,244億4千2百万円	4,236億2千8百万円	△8億1千4百万円
純資産	3,945億7千2百万円	3,929億6千3百万円	△16億9百万円
自己資本比率	92.1%	91.8%	—
1株当たり純資産	3,685.23円	3,669.18円	△16.05円

総資産は、前連結会計年度末に比べ8億円減少して、4,236億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ15億円減少して、1,899億円となりました。現預金と有価証券があわせて59億円減少した一方、売上債権が42億円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億円増加して、2,338億円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億円増加して、307億円となりました。

また純資産は、前連結会計年度末に比べ16億円減少して、3,930億円となりました。第1四半期純利益83億円を計上した一方で、剰余金の配当95億円による減少が主な要因です。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
現金及び現金同等物期首残高	720億9千7百万円	825億7千7百万円	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	29億3千6百万円	48億7千4百万円	19億3千7百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	74億5千6百万円	45億6千5百万円	△28億9千1百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88億3千3百万円	△85億7千1百万円	2億6千1百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4百万円	2千5百万円	2千9百万円
現金及び現金同等物の増減額	15億5千6百万円	8億9千4百万円	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	736億5千3百万円	834億7千1百万円	—

営業活動によるキャッシュ・フローは、49億円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益130億円などのキャッシュの増加要因があった一方で、法人税等の支払額が74億円となったことなどによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、46億円の収入となりました。有価証券および投資有価証券の売却・償還による収入が取得による支出を51億円上回ったことなどによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などから86億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、平成23年5月11日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,445	19,327
受取手形及び売掛金	36,704	40,935
有価証券	103,524	100,707
商品及び製品	7,859	8,160
仕掛品	1,719	2,626
原材料及び貯蔵品	3,468	2,900
その他	15,657	15,197
貸倒引当金	△9	△4
流動資産合計	191,370	189,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,245	65,042
減価償却累計額	△42,703	△42,923
建物及び構築物(純額)	22,542	22,118
機械装置及び運搬具	15,633	15,707
減価償却累計額	△13,586	△13,655
機械装置及び運搬具(純額)	2,046	2,052
土地	22,551	22,551
建設仮勘定	657	725
その他	10,089	10,083
減価償却累計額	△9,271	△9,312
その他(純額)	817	770
有形固定資産合計	48,616	48,219
無形固定資産		
その他	955	925
無形固定資産合計	955	925
投資その他の資産		
投資有価証券	167,953	168,950
その他	15,552	15,690
貸倒引当金	△4	△8
投資その他の資産合計	183,501	184,633
固定資産合計	233,072	233,778
資産合計	424,442	423,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,324	4,857
短期借入金	1	1
未払法人税等	7,422	4,550
引当金	5,681	3,406
その他	7,767	14,120
流動負債合計	26,198	26,937
固定負債		
長期借入金	12	12
退職給付引当金	454	572
その他の引当金	124	75
資産除去債務	52	52
その他	3,028	3,016
固定負債合計	3,672	3,728
負債合計	29,870	30,665
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	435,536	419,314
自己株式	△74,219	△59,196
株主資本合計	395,754	394,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,162	3,632
土地再評価差額金	△8,938	△8,938
為替換算調整勘定	△266	△241
その他の包括利益累計額合計	△5,042	△5,548
少数株主持分	3,860	3,955
純資産合計	394,572	392,963
負債純資産合計	424,442	423,628

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	33,830	36,328
売上原価	5,935	6,807
売上総利益	27,894	29,521
販売費及び一般管理費		
研究開発費	8,023	9,379
その他	8,131	7,959
販売費及び一般管理費合計	16,155	17,339
営業利益	11,739	12,182
営業外収益		
受取利息	348	303
受取配当金	904	925
その他	108	134
営業外収益合計	1,360	1,363
営業外費用		
寄付金	78	118
その他	152	54
営業外費用合計	230	173
経常利益	12,869	13,371
特別損失		
投資有価証券評価損	71	353
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
特別損失合計	99	353
税金等調整前四半期純利益	12,769	13,017
法人税等	4,399	4,571
少数株主損益調整前四半期純利益	8,370	8,446
少数株主利益	48	100
四半期純利益	8,322	8,345

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,370	8,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,163	△532
為替換算調整勘定	△6	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	△5,173	△507
四半期包括利益	3,197	7,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,151	7,839
少数株主に係る四半期包括利益	45	99

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,769	13,017
減価償却費	717	688
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△194	117
受取利息及び受取配当金	△1,252	△1,228
投資有価証券評価損益(△は益)	71	353
売上債権の増減額(△は増加)	△5,539	△4,230
たな卸資産の増減額(△は増加)	770	△639
仕入債務の増減額(△は減少)	1,057	△665
その他	1,547	3,590
小計	9,945	11,003
利息及び配当金の受取額	1,330	1,301
法人税等の支払額	△8,339	△7,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,936	4,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,357	△6,797
有価証券の売却及び償還による収入	12,050	22,240
有形固定資産の取得による支出	△283	△489
投資有価証券の取得による支出	△2,020	△10,307
投資有価証券の売却及び償還による収入	5	2
その他	63	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,456	4,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△8,826	△8,565
少数株主への配当金の支払額	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,833	△8,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,556	894
現金及び現金同等物の期首残高	72,097	82,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,653	83,471

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

当社グループは、「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年4月6日開催の取締役会決議に基づき、平成23年4月13日付で300万株の自己株式を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ15,025百万円減少しております。

## (7) その他の注記事項

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<p>・当第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。</p> <p>・当社は、平成23年4月1日付で、会社経営の安定化をはかるために、退職給付制度の改定を行いました。 この制度の改定は、給付利率の見直しを主な内容としており、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理(企業会計基準適用指針第1号)」を適用しております。 この改定により退職給付債務が3,697百万円減少し、これに伴い発生した過去勤務債務は、発生時より1年間で退職給付費用の控除として処理しております。</p>

## 4. 補足情報

## (1) 主な製品の売上高と予想

(単位：億円)

製品名	24年3月期 第1四半期実績			24年3月期 通期予想	
	金額	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	金額	前期比 増減率
オパルモン錠	101	▲4	▲3.9%	385	▲4.0%
グラクティブ錠	62	47	309.9%	250	125.0%
オノンカプセル	52	▲1	▲1.0%	180	▲16.4%
キネダック錠	31	▲6	▲17.1%	115	▲12.9%
フオイパン錠	27	▲3	▲11.1%	90	▲17.9%
オノンドライシロップ	19	▲3	▲13.2%	80	▲6.4%
ステーブラ錠	16	1	8.8%	65	11.2%
イメンドカプセル	16	7	78.8%	65	37.0%
注射用エラスポール	11	▲2	▲16.0%	47	▲5.6%
注射用オノアクト	9	▲0	▲1.2%	38	7.0%
リカルボン錠	5	1	16.6%	22	12.8%

(注) 仕切価格(出荷価格)ベースでの売上高を開示しております。

## (2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	144	607	0	752
II 連結売上高(百万円)				33,830
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	0.4	1.8	0.0	2.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……イタリア、オランダ、ドイツ等

(2) アジア……韓国、台湾

(3) その他の地域……ウルグアイ

3 海外売上高は、当社の輸出高(特許権等使用料収入を含む)であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	60	760	7	828
II 連結売上高(百万円)				36,328
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	0.2	2.1	0.0	2.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……オランダ、ドイツ等

(2) アジア……韓国、台湾

(3) その他の地域……ウルグアイ等

3 海外売上高は、当社の輸出高(特許権等使用料収入を含む)であります。

(3) 開発品の進捗状況

平成23年8月2日現在

1. 国内開発品状況

<承認取得開発品>

製品名/開発コード	区分	効能/薬理作用	剤型	
グラクティブ錠 <sup>※1</sup> (ONO-5435) /MK-0431	効能追加	2型糖尿病 (α-グルコシダーゼ阻害剤との併用療法) /DPP-4 阻害作用	錠	共同 (MSD)
コアベータ静注用 <sup>※2</sup> (ONO-1101)	効能追加	コンピューター断層撮影による冠動脈造影における冠動脈描出能の改善/β <sub>1</sub> 遮断作用(短時間作用型)	注射	自社
リカルボン錠 <sup>※3</sup> (ONO-5920) /YM529	用法・用量追加 (4週1回製剤)	骨粗鬆症/骨吸収抑制作用 (ビスホスホネート系製剤)	錠	共同 (アステラス製薬)

平成23年3月期決算発表(5月11日)時点からの変更点

※1: 2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠(ONO-5435)/MK-0431」は、平成23年5月20日付でα-グルコシダーゼ阻害剤との併用療法に関する効能追加の製造販売承認を取得しました。

※2: 「コアベータ静注用(ONO-1101)」は、平成23年7月1日付で製造販売承認を取得しました。なお、「コアベータ静注用」は、手術時及び手術後の頻脈性不整脈治療剤「注射用オノアクト」と同一有効成分です。

※3: 骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠(ONO-5920)/YM529」は、平成23年7月1日付で4週に1回服用する新用量医薬品として50mg錠の製造販売承認を取得しました。

<申請中開発品>

製品名/製品名候補/開発コード	区分	予定効能/薬理作用	剤型	
グラクティブ錠 (ONO-5435) /MK-0431	効能追加	2型糖尿病 (インスリン製剤との併用療法) /DPP-4 阻害作用	錠	共同 (MSD)
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847) /MK-0517	新有効成分	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 /ニューロキニン1受容体拮抗作用	注射	導入 (メルク社)

<臨床試験中開発品>

製品名/製品名候補/開発コード/一般名	区分	予定効能/薬理作用	フェーズ	剤型	
イメンドカプセル (ONO-7436) /MK-0869	小児での効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 /ニューロキニン1受容体拮抗作用	Ⅲ	カプセル	導入 (メルク社)
注射用オノアクト (ONO-1101)	効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 /β <sub>1</sub> 遮断作用(短時間作用型)	Ⅱ/Ⅲ	注射	自社
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症/S1P受容体作動作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-3849 /Methylnaltrexone bromide	新有効成分	オピオイド鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘/ μオピオイド受容体拮抗作用	Ⅱ	注射	導入 (プロジェニックス社)
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質/グレリン様作用	Ⅱ	錠	導入 (ヘルシン社)
ONO-2745 /CNS 7056	新有効成分	全身麻酔/GABA <sub>A</sub> 受容体作動作用 (短時間作用型)	Ⅱ	注射	導入 (バイオオン社)
オパルモン錠 <sup>※4</sup> (OP-1206)	効能追加	手根管症候群/血管拡張作用	Ⅱ	錠	共同 (大日本住友製薬)
ONO-7057 <sup>※5</sup> /Carfilzomib	新有効成分	多発性骨髄腫/プロテアソーム阻害作用	Ⅰ/Ⅱ	注射	導入 (オニキス社)
ONO-5334	新有効成分	骨粗鬆症/カテプシンK阻害作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-4538 /BMS-936558(MDX-1106)	新有効成分	悪性腫瘍/完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅰ	注射	自社
ONO-3951 /Asimadoline	新有効成分	過敏性腸症候群 /κオピオイド受容体作動作用	Ⅰ	錠	導入 (タイオガ社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 /ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社

平成23年3月期決算発表(5月11日)時点からの変更点

※4:末梢循環障害改善剤「オパルモン錠(OP-1206)」は、手根管症候群での効能追加を目的としたフェーズⅡ試験を開始しました。

※5:多発性骨髄腫治療薬ONO-7057は、フェーズⅠ/Ⅱ試験を開始しました。

## 2. 国外開発品状況

<臨床試験中開発品>

製品名/製品名候補 /開発コード	区分	予定効能/薬理作用	フェーズ	剤型	
ONO-5334	新有効成分	骨粗鬆症/カテプシンK阻害作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-4641	新有効成分	多発性硬化症/S1P受容体作動作用	Ⅱ	錠	自社
ONO-4538 <sup>※6</sup> /BMS-936558(MDX-1106)	新有効成分	腎細胞がん /完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅱ	注射	共同 (ブリistol・ マイヤーズ スクイブ社)
ONO-4538 /BMS-936558(MDX-1106)	新有効成分	C型肝炎/完全ヒト型抗PD-1抗体	Ⅰ	注射	共同 (ブリistol・ マイヤーズ スクイブ社)
ONO-7746	新有効成分	血小板減少症 /トロンボポエチン受容体作動作用	Ⅰ	カプセル	導入 (日産化学工業)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 /ロイコトリエン受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群/TSPO(トランス ロケータープロテイン)拮抗作用	Ⅰ	錠	自社
ONO-4053	新有効成分	アレルギー性鼻炎/プロスタグラン ディンD2受容体拮抗作用	Ⅰ	錠	自社

平成23年3月期決算発表(5月11日)時点からの変更点

※6:完全ヒト型抗PD-1抗体ONO-4538/BMS-936558(MDX-1106)は、腎細胞がんを対象としたフェーズⅡ試験を開始しました。